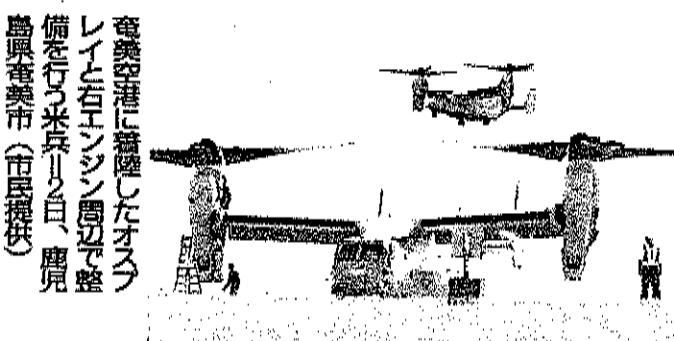


12月3日

米オスプレイ

# 奄美空港に3機着陸

## 「救難」理由に、1機不具合か



鹿児島県・屋久島沖の米空軍CV-22オスプレイの墜落事故で、米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）所属のMV-22オスプレイ3機が2日、「救難活動と人員輸送のため」だとして鹿児島県奄美空港に着陸しました。日本政府は米側に対し、「捜索救助活動を除き、安全が確認されてから飛行を行つよう要請した」としており、「捜索救助活動」の名目であれば飛行を容認するべきだと指摘したオペラレイと右エンジン周辺で整備を行つて、米軍は2日、鹿児島県奄美市（市民提供）

おり、エンジンに不具合が発生した可能性があります。県によると同機は午後3時50分に離陸しました。

九州防衛局は県に対し、オスプレイ飛来の目的について「救難活動に必要最小限のもの」と説明。しかし、米軍は救難活動に特化したHH-60救難ヘリを嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）などを配備しておらず、オスプレイを使用する理由的理由はありません。

奄美大島在住の城村典文さん（71）は、「欠陥機の救助に欠陥機があたるなど常識では考えられない。日本はほかにされている」と憤りました。

1機の右エンジン周辺では、奄美大島在住の城村典文さんは米兵らが作業する様子が確認されました。防衛省九州防衛局は同機がどもった理由として「整備が必要であったため」と説明し